

名大祭のテーマワードランキング

今年の第60回名大祭のテーマ「君、勇気ある？」は、名大の人材育成の理念「勇気ある知識人」に対応したのですが、「勇気」という単語がテーマに使われたのはこれが初めてです。これまで、名大祭のテーマにはどのような単語が多く使われて来たのでしょうか。そこから学生の意識を垣間見ることもできそうです。

下の表は、過去60回で、5回以上テーマに登場した単語のランキングです。これらの単語はいずれも、ほぼ20回（1979年）までに使われたことが分かります。20回あたりまでのテーマは、副題が付いているうえに文章調であったため、使用された単語の絶対数が多く、ランキングに入りやすいことは事実です。特に10回（1969年）あたりまでに登場回が集中している単語が目立ちます。

最も多いのは「我ら（われら）」で、これに次ぐのが「祖国」と「大学」です。「祖国」は、当時の学生運動でよく使われた用語でした。「大学」は、いわゆ

る大学紛争の時代において、当時の学生運動が大学のあり方を問うていたことを反映しているのでしょう。3位の「人民」「変革」「平和」のほか、4位の「学問」「真理」「科学」といった最高学府の学生らしい用語も、最近のテーマには見られなくなりました。

その中で、1970年代（11～20回）に多い「青春」はやや異質に感じます。大学紛争が一段落し、ドラマや歌で盛んに「青春」という言葉が使われるようになった時代を反映しているようです。

21回（1980年）以降は、テーマがフレーズ化、単語化したこともあり、頻出する単語を見だしにくくなります。ただ、単語ではなく文字であれば、「夢」という漢字が36回（1995年）以降6回登場しています。これは、将来の夢を語るというより、大学祭を非日常的な場としてとにかく楽しもうという、名大祭の娯楽化を象徴していると考えられます。

順位	単語	回数	登場回
1	我ら	11	6, 9~13, 17, 19, 21~23
2	祖国	7	4, 5, 7~10, 18
	大学	7	3, 4, 6, 7, 10, 15, 38
3	人民	6	1, 2, 4, 6, 8, 9
	変革	6	2, 11, 15, 18, 20, 21
	平和	6	4, 6~9, 12
4	日本	5	1, 2, 7, 12, 15
	歴史	5	1, 9, 11, 18, 19
	民主	5	4, 5, 9, 10, 12
	学問	5	5, 6, 8, 9, 18
	真理	5	7, 9~12
	科学	5	10, 14, 15, 17, 19
	青春	5	11, 13, 14, 16, 26



2



3

- 1 同年のテーマの主題と副題の両方に登場した場合は1回とカウントした。1位の「我ら」は、「われら」を含む。
- 2 第9回（1968年）のパンフレットの表紙（A4判）。この年のテーマは「この祖国に平和と民主主義を我ら真理のとりでを築くもの たぎる力をよりあわせ 歴史をになう人民の隊列へ」で、頻出単語が特に多い（さらに副題もあった）。
- 3 第59回（2018年）のパンフレットの表紙。この年から、第32回（1991年）以来B5判だったサイズがA5判になった。

BRIEF HISTORY OF NAGOYA UNIVERSITY

名古屋大学基金のご案内

名古屋大学が優れた人材輩出や世界的な研究成果により、今後も日本や地域に貢献し続けるには、安定した独自財源が必要です。「名古屋大学基金」はその基盤であり、皆様からのご寄附を、さまざまな事業に活用させていただきます。何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

人を伸ばす、明日を創る、世界と歩む



特定基金

名古屋大学基金の中には、研究推進や人材育成など、支援目的を特定してご寄附いただける事業もご用意しております。



ご寄附のお申込み、お問い合わせはDevelopment Office（DO室）あて（電話052-789-4993、Eメールkikin@adm.nagoya-u.ac.jp）にお願いいたします。

詳しくはホームページをご覧ください。

アクセスはこちら

名古屋大学基金

<http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kikin/>

